

「JR肥薩線復興アクションプラン」概要

◆JR肥薩線復興アクションプランの位置づけ

JR肥薩線復興方針

- 関係地域およびJR肥薩線の現状、課題、目指す姿を整理した上で、具体施策案および復興に係る費用と効果の2023年度時点案を提示
- 実現に向けた推進手法の基本的な考え方を提示

肥薩線のマイルール意識醸成による日常利用創出について

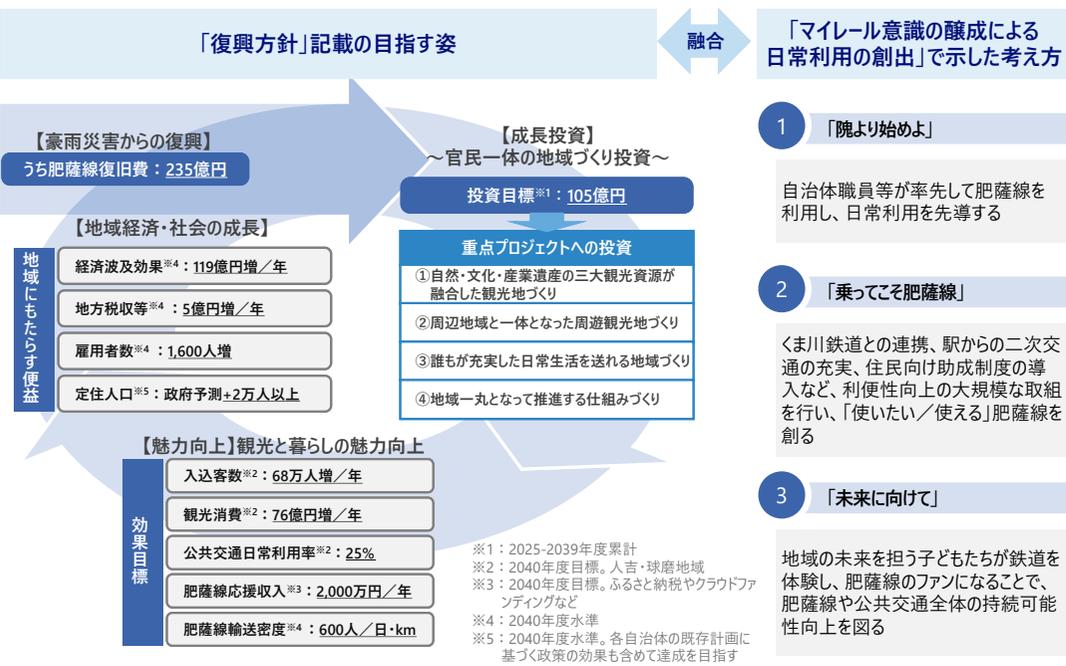
- 「隗より始めよ」、「乗ってこそ肥薩線」、「未来に向けて」の3つのキーワードをもとに、マイルール意識醸成に向けた取組の考え方、取組例を提示

JR肥薩線復興アクションプラン

- 「復興方針」および「日常利用創出について」で示した基本的な考え方をもとに、詳細化した具体施策を提示
- 各具体施策について、「いつ」「誰が」「何を」実施するかのロードマップを提示
- 具体施策の実現に向けた進捗管理の詳細な考え方を提示

三位一体

◆「復興方針」の目指す姿と、「日常利用創出について」のキーワードを踏まえ、具体施策を詳細化・加除・統合



◆具体施策

#	具体施策名	初期投資		運営費用	
		数値	単位	数値	単位 (15年計)
1	球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備	8,354	百万円	590	百万円
2	観光の拠点としての人吉駅周辺整備	1,011	百万円	84	百万円
3	音楽祭・芸術祭・花火大会等のイベント開催・PR	-	百万円	623	百万円
4	マンガ、アニメ、地域資源と連携したコンテンツ組成	-	百万円	965	百万円
5	地域の自然、文化施設、産業遺産と連携したPR	-	百万円	433	百万円
6	地域を代表する観光列車の導入	1,000	百万円	350	百万円
7	広域でのサイクルツーリズム拠点整備	-	百万円	625	百万円
8	周遊旅行の拡大に向けた環境整備や特徴的な旅行商品・フリーバスの組成	20	百万円	151	百万円
9	市町村内および広域の二次交通整備	32	百万円	407	百万円
10	くま川鉄道や新八代駅への直通運転	70	百万円	今後精査	
11	地域性を活かした学びの提供と、教育旅行の誘致	-	百万円	376	百万円
12	生活・交流拠点としての駅再整備	277	百万円	-	百万円
13	通勤・通学時間帯の増発	今後精査		371	百万円
14	自家用車や自転車との連携	30	百万円	150	百万円
15	定期利用や遠方へのお出かけに対する利用助成	-	百万円	61	百万円
16	駅や列車の仕事拠点・学習拠点としての活用	623	百万円	72	百万円
17	住民が鉄道に親しむ仕組みづくり	-	百万円	410	百万円
18	自治体職員等の率先した鉄道利用の実施	-	百万円	73	百万円
19	長期間にわたる「繋がり」を生み出す仕組みづくり	-	百万円	213	百万円
20	地域の特産品を鉄道で輸送し、魅力をPR	-	百万円	426	百万円
合計		11,417	百万円	6,381	百万円

注1) 「-」は現時点で少額又は不要と想定 注2) 合計は四捨五入により合わない場合がある

◆数値目標



◆進捗管理方法

具体施策別の検討組織を設置し、県、市町村、JR九州、関係団体で施策単位での計画立案・実行・検証を行う

